

ちいさな証

神には、出来ない事は、ありません

トムセン千香子

スイス日本語福音キリスト教会会員



聖書にイエス様が盲人の目を癒すお話が、何カ所か出てきます。それは、聖書のお話でとどまらず、今もイエス様は、生きて働き、私たちの体も心も癒し続けておられるということを、体験させて頂きました。

その一つとして母の目の事を分かち合いたいと思います。何よりも始めに皆様のお祈りを感謝いたします。

この夏日本へ行く何週間か前に母からの電話で、目が見えなくなって来ているという事を聞いていました。私が日本に着いた時には、母の視力はほとんどなく、物の形がぼんやりとみえる程度になっていました。着いた二日後に病院の予約が入れてありましたので、母に付き添って行ってきました。

検査の映像を見せてもらうと、やはり眼底出血があり膜のところが腫れていました。お医者様から4種類の治療の説明をうけ、2週間後の予約時までには検討するようと言われました。新薬を使うか、従来の治療にするか、など混乱の中で、神様が一番良い方法を指し示して下さい、そして御心ならば、癒して下さいを子供達ともに、母に手を置いて祈りました。

こんな祈りをされるのは、母にとって初めての事でしたが、素直に受け入れてくれました。最近母はゲルスタ先生から頂いていた聖書を読みかけていたので、私は神様に、母がまた聖書を読めるようにしてほしいとも、お願いしました。そのとき与えられた御言葉は、『**神には、何でも出来ない事は、ありません。**』ルカ1：37でした。その御言葉を握って子供達と毎日祈りました。

そんなこんなで、2週間がたち、次の検診の時間が近づいて来た頃、母が、何だか新聞がみえるようになって来た気がすると言い出したのです。そして検診の日、もう一度眼底の写真を撮り、お医者様が視られたところ、同一人物の物と思えないくらいきれいに腫れが、退いているとの事でした。こんなことは、まれにしか起こらないと、お医者様も驚いておられました。

その時の感動は、言葉に言い表せないほどでした。鳥肌がたち、心の中で、イエス様！と感謝しました。イエス様は、私たちにはっきりと今も生きて働いておられ、御心に合ったお祈りに答えてくださるという事を見せて下さいました。母にもこれは、偶然の出来事ではなく、イエス様が癒して下さいなのだ、という事を言い聞かせました。

母もこの不思議を体験して何か心に思う物があつたようです。クリスチャンになるという事、つまり洗礼を受けるという事には、まだ踏み切れませんが、イエス様の御臨在は感じているようです。共に感謝の祈りも捧げ、母の口からもイエス様にありがとうございます、という祈りが出てきました。またもうひとつ大きな出来事は、今回の滞在の間、母は、以前には毎日のように唱えていた般若心経を一度も唱えませんでした。お盆の時ですえも。母の心の中に何か変化が起きていると、感じています。

両親の救いを長年祈っていますが、今回の体験を通して神様は神様の時間と方法でご計画を実行されるという事を確信しました。神様の事を時折疑っていた罪を今ここに告白します。主は、すばらしい！

最後まで読んで下さってありがとうございます。これが、私の日本からの土産話です。この土産話が、どなたかの励ましとなる事を願って、こうして分かち合わせていただきます。

